

※当資料は、DWS グループが 2020 年 12 月 11 日に発表したニュースリリースをドイツ・アセット・マネジメント株式会社が翻訳したものです。



ニュースリリース

フランクフルト

2020 年 12 月 11 日

「ネットゼロ・アセットマネジャーズ・イニシアチブ」設立 ～DWSはドイツの資産運用会社では唯一参画～

- 気候変動対応を企業に求める欧州の機関投資家団体である IIGCC (The Institutional Investors Group on Climate Change) など 6 団体が協業し、「ネットゼロ・アセットマネジャーズ・イニシアチブ」が設立されました。参画する資産運用会社の運用資産総額は約 9 兆米ドルに上ります。
- DWS は創設メンバーの一社です。当イニシアチブのメンバーの多くは ESG に特化した運用会社であり、グローバルな大手資産運用会社も複数社が参画しています。
- このことは、気候中立(クライメート・ニュートラル)および持続可能(サステナブル)な未来に向けた DWS の確固たる取り組みを実証するものです。

「ネットゼロ・アセットマネジャーズ・イニシアチブ」は、参画する資産運用会社が投資ポートフォリオの脱炭素化を強力に推進し、ネットゼロ・エミッション(温室効果ガス排出量実質ゼロ)の達成に貢献することにより、世界の平均気温の上昇を 1.5°C に抑えることを目指す取り組みです。

運用資産総額が約 9 兆米ドルに上る資産運用大手各社は本日、「ネットゼロ・アセットマネジャーズ・イニシアチブ」の設立を発表しました。当イニシアチブに創設から参画するグローバルな資産運用会社 30 社は、世界の平均気温の上昇を 1.5°C 以下に抑えることを目指す世界的な取り組みに沿って、2050 年までにネットゼロ・エミッションを達成するという目標を支援することを表明しており、DWS もその一社です。また創設メンバーは、2050 年までにネットゼロ・エミッションを達成するための投資を支援することも表明しています。その目標を達成するための投資行動の例として、投資先のセクター間や企業間で、実体経済活動における温室効果ガス排出量削減の達成状況を評価し、投資対象としての優先順位に反映させることも含まれます。

DWS の最高経営責任者(CEO)であるアソカ・ヴァーマンは、次のように述べています。「私たちは今、サステナビリティを実現できるかどうかの瀬戸際にいます。気候変動との戦いは私たちの時代の社会的・経済的使命です。その取り組みに異を唱える者は敗者となるでしょう。受託者責任を有する資産運用会社として、温室効果ガスゼロ経済への道を切り開くことは私たちの責務です。『ネットゼロ・アセットマネジャーズ・イニシアチブ』への参画はこうした目標への私たちのコミットメントを示すものです。お客様に代わって、私たちは企業がサステナビリティに真剣に取り組んでいるかを確認します。そして、改善が求められるにも関わらず、それに向けた明確な進展が見られない企業は、投資対象から除外することとなるでしょう。」

当イニシアチブへ参画する全ての資産運用会社は以下の点にコミットしています。

- 2050年までにネットゼロ・エミッションを達成するという野心的な目標に沿って、アセット・オーナーである顧客と連携し、すべての運用資産において脱炭素化に取り組む。
- 2050年までのネットゼロ・エミッション達成に向けて運用する資産の割合の中間目標を設定する。
- 少なくとも5年ごとに中間目標の達成状況を確認するとともに、運用資産額に対する達成目標比率を引き上げ(ラチェット・アップ)、最終的に100%となることを目指す。

DWS のグループ・サステナビリティ・オフィスは、次のコメントを発表しました。「持続可能な投資の価値への信念を共有し、先駆的役割を担うこの名誉あるグループの創設メンバーになったことを光栄に思います。DWS は、その包括的な専門知識をお客様および当イニシアチブのために最大限に活用し、最終的な目標達成に貢献することをお約束します。必要とされる変化を実現するためには、実行力と透明性が鍵であり、私たちはその達成のために全力を尽くします。」

世界中から集結した創設メンバーの資産運用大手 30 社は次のとおりです。

a.s.r. Asset Management、Anaxis Asset Management、Arisaig Partners、アセットマネジメント One、ATLAS Infrastructure Partners、AXA Investment Managers、BMO Global Asset Management、Calvert Research and Management、CCLA Investment Management、Clean Energy Ventures、DWS、FAMA Investimentos、Fidelity International、Generation Investment Management LLP、Gulf International Bank Asset Management、Handelsbanken Fonder AB、IFM Investors、Inherent Group LP、Kempen Capital Management、Legal & General Investment Management、M&G plc、New Forests Pty Ltd、Nordea Asset Management、Robeco、Sarasin & Partners LLP、Schroders、Swedbank Robur、UBS Asset Management、Wellington Management and WHEB.

今後数カ月間で、更に多くの有力資産運用会社の参画が見込まれています。

「ネットゼロ・アセットマネージャーズ・イニシアチブ」はアントニオ・グテーレス国連事務総長、ボリス・ジョンソン英首相 が 2020 年 12 月 12 日に共同開催する「世界気候サミット 2020」に先駆けて設立されました

当ニュースリリースの原文(英語)は[こちら](#)

ご留意事項

当資料は、情報提供を目的としたものであり、特定の投資商品の推奨や投資勧誘を目的としたものではありません。当資料は、信頼できる情報をもとにDWSグループが作成・発行したものをドイツ・アセット・マネジメント株式会社が翻訳して提供しておりますが、正確性・完全性についてドイツ・アセット・マネジメント株式会社が責任を負うものではありません。日本語訳とオリジナル英文資料の内容に相違がある場合には、英文資料の内容を優先します。当資料に記載の見解や見通し等は作成時点のものであり、将来の傾向、数値等を保証もしくは示唆するものではありません。当資料記載の情報は、作成時点のものであり、市場の環境やその他の状況によって予告なく変更することがあります。

DWS グループ

DWS グループ（以下DWS）は、約7,590億ユーロ（2020年9月末時点）の運用資産残高を誇る世界有数の資産運用会社です。60年以上の運用実績を有し、ドイツおよびヨーロッパ各地、アメリカ、アジアにおいて優れた運用体制への評価を確立してきました。そして現在、DWSは世界のお客さまから、資産運用のあらゆる分野における総合的なソリューション、持続性および革新性を提供する運用会社として信頼を集めています。

DWSは個人および機関投資家のお客さまに対し、その強固な運用体制を基盤として、すべての主要な資産クラスへのアクセスと成長トレンドを適切に捉えた資産運用ソリューションを提供します。アクティブ、パッシブそしてオルタナティブ運用における多岐にわたる専門性と、ESG（環境、社会、企業統治）投資における積極的な取り組みは、お客さまの期待に応えるソリューションを提供する上で補完的な役割を果たします。エコノミスト、リサーチアナリスト、運用プロフェッショナルが有する専門性と現地に根ざした調査は、DWSのグローバル投資見通しである「CIO View」に集約され、それが戦略的な運用アプローチ策定の根幹となっています。

DWSでは約3,400人のスタッフが、一つのグローバル・チームの一員であるという高い意識を持ちつつ、各国・地域に精通する専門家として活躍しています。我々は資産運用に革新をもたらし、未来に向けた資産運用ビジネスを形作ることを目指しています。

ドイツ・アセット・マネジメント株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第359号

加入協会：日本証券業協会、一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、
一般社団法人第二種金融商品取引業協会

ドイツ・アセット・マネジメント株式会社は、DWSグループの日本における拠点であり、投資信託ビジネス・公的年金・企業年金運用の長年にわたる経験、ノウハウ及び実績を有します。グローバルな運用体制と独自の洞察力を駆使した質の高いサービスをご提供するとともに、日本市場の資産運用ニーズに的確にお応えすることを目指します。